

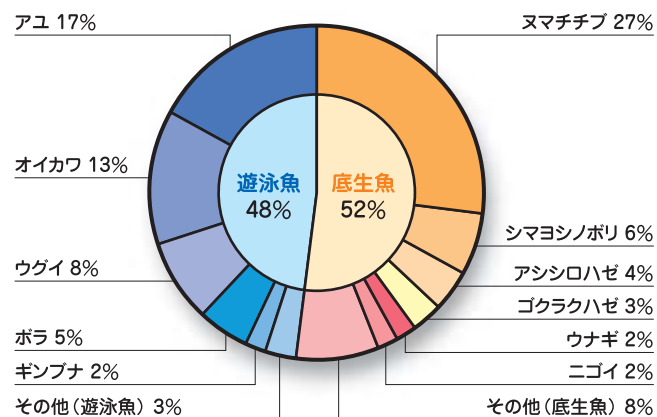
③ 下流域の魚たち

河口～掛塚橋

下流域は天竜川の中で最も海に近い地域です。そのため、アシシロハゼなどの汽水・海水魚が多く見られるのが特徴です。

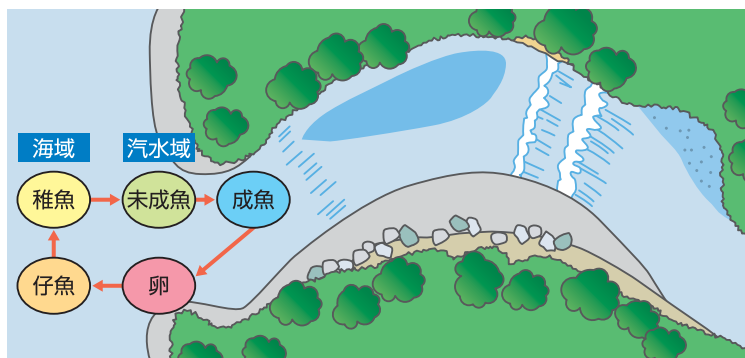
下流域に位置する掛塚橋では、アユ、オイカワなどの遊泳魚、ヌマチチブ、シマヨシノボリ、アシシロハゼなどの底生魚がよく見られます。

この付近では、メダカ、ウツセミカジカなどの貴重な魚も確認されています。



掛塚橋の魚類確認状況(魚種別の個体数割合)

※データ集計期間：平成15年5月～平成17年3月



汽水・海水魚(アシシロハゼ)の生活

ワンド

～下流域で特徴的な環境～

●下流域のワンドにすむ生き物

ワンドの砂や石の川底には、ヌマチチブやゴクラクハゼ、アシシロハゼなどが生活し、石についた藻類や水生昆虫を食べています。流れのゆるやかな場所では、ウナギやオイカワなどの幼魚が体を休めています。

また、抽水植物が生えている場所ではモノアラガイなどの底生生物がすんでいます。

※底生生物については、「天竜川・菊川総合学習ミニガイド(水生生物編)」を参考にして下さい。



モノアラガイ

